

青森市社会連合会報

第12号

発行者

青森市橋本二丁目一番十七号

青森市社会連合会

会長 坂本 松三郎

昭和四十七年七月三十日発行

印刷

東奥日報社出版部

子どもを守るのは大人の責任

夏休み中の交通事故防止運動

(今が決戦のときです。)

市民みんなで気をつけよう)

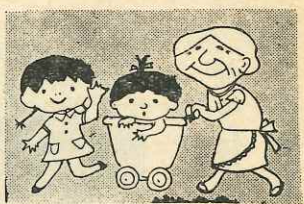
県内の交通事故の死傷者は「^{いち}万が一」でなく128人に1人です
夏にこどもと老人の事故が例年激増しております

1 交通ルールは「お母さん」の実行から

- 幼児の「ひとり歩き」や「ひとり遊び」はやめさせましょう。
- 子どもの「とび出し」「路上遊戯」「車の直前直後の横断」はやめさせましょう。
- 子どもの「遊び場」に気をつけ、また、遊び場を多くつくるよう隣近所で話しあいましょう。

2 老人は、「車のスピード感に弱い」

- 赤信号でも無理に横断しようとする人には注意してやりましょう。



3 としよりと子どもは動く赤信号

- 運転者は、「幼児、子ども、老人」を発見したら、かならず「徐行」「一時停止」をしましょう。

親がする無理な横断子がまねる

おばあちゃんぼくと渡ろう横断歩道

とびだすなあそぶな車のまえうしろ

運転は「見る」「待つ」「ゆずる」「ゆとりから

※野外映画会御希望の方は市役所交通安全課に申込み下さい。

六月一日から一ヶ月間公害防止月間を行いましたが、市民の皆さんの御協力を得て成果を上げました。

青森市独自の「公害防止月間」終る 市民の公害意識高まる!!

今後市の公害行政に、市民の皆さんの声を反映して下さるようお願いいたします。実施事業の主なるものと効果は次のとおりです。



久栗坂町会での海岸大清掃
海岸をきれいにしゴミや汚物をなげない運動を展開した。

「青森港を公害のない海にする対策協議会発足」

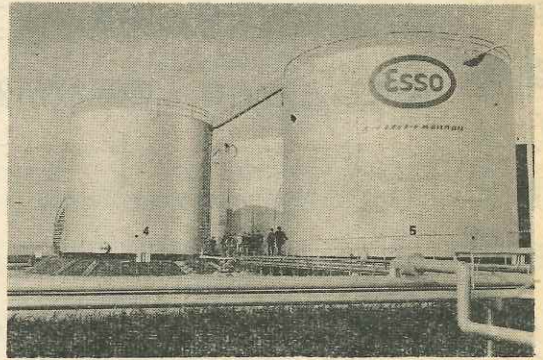
青森港ははたて、わかめの一大養殖場です。

この海を絶対によろこばないようするため、対策協議会を設立し、海の清掃、ゴミなどを捨てないように監視員一五〇名を任命、汚水を流している事業所の指導などいろいろな事業を優先に行なっております。

× × × × × × × × × ×



海上パトロール
市内の海の関係者でパトロール。川からの汚水が非常に多かった。



沖館石油基地臭気公害大幅に解消
関係六社が防除施設をした。なお若干問題のあるところは改善を勧告した。

「野内川を

きれいにする会発足」

アユをもっと魚が住めるように地域住民が手をたずさえて、野内川をきれいにしようと会を発足させた。



野内川大清掃
関係市民150名出て清掃した。その後2,000尾放流。

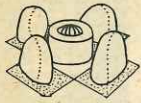
「市民と業者との

公害防止協定初めて締結」

はたて加工場の建設に伴い、悪臭、汚水を流さないようにこの公害防止についての協定が、市の立ち会いのもとに市民と業者の間に青森市では初めて締結された。

青森市の地盤沈下調査始まる

(水準標)



最近問題になっている青森市の地盤沈下の実態を調べるため今年度において水準標の設置、測量と地下水の利用実態調査を行なうことになりました。

「水準標の設置」

全市内に百五十八点、旧市内には五百点、新市内には一ヶ箇所で道路端や学校敷地などに打ち込み、一年間にどれ位沈下しているかを測量いたします。

水準標は地盤沈下を測量する重要な施設ですので、自動車などで破損しないようお気を付けて下さい。

地下水の利用実態調査

地下水の利用実態調査を七月二十日現在に行ないます。

調査は、調査員が市内にあるすべての事業所にうかがい、そのうち、地下水を使用している事業所に調査票の記入をお願いします。該当する事業所は、調査事項について記入のうえ、指定された期日までに調査員にお渡しください。

なお調査書は、他に漏らしたり、調査目的以外には絶対使用しません。



私達はゴミは文化のパロメーターである

青森市衛生都市建設促進協議会
会長 坂本松三郎

ゴミ処理に 協力を

るといって紙類、ビン類、陶類、電気製品など、なんでもとんとん使って捨てるそれを誇りに思ってきました。

その結果ゴミの排出量が急激にふえ続け、市ではこの五年間で二倍となり現在私達の家庭から出るゴミの量は毎日約四百、中型トラック(二ト積み)で二百台分の量となっております。そこで私達はゴミをどうすれば少なく出来るのかいろいろなるものを捨てる前にほかに利用出来ないかどうかを考え最小限のゴミにとどめるよう心がけ市の清掃行政に協力し私達の街をきれいにしてゆかなければ

いけないと思います。

このようにして最小限にとめたゴミについても収集作業、処理に支障のきたさないように指定日に指定された場所にだれが見ても見苦しくないようにきちんと整理して出したものです。

また、とくに夏の季節は果物が加わり台所から出るゴミの量もふえてきますので、腐って悪臭を放たないようにハイがつかず衛生にならないようポリ袋に入れ口をしはって出すようにし、みんなの協力できれいなまちに育ててゆきたいものと念願しております。

運転者のみなさん

電柱破損に注意を！

最近、自動車による電柱を破損する事故が非常に増加しています。

青森市内では、年間六十五件発生しており、青森県内では第一位で十名以上が死亡する悲惨な情景がみられたほか、約九千戸が停電しています。

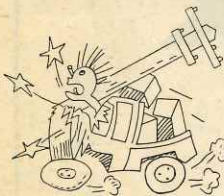
つまり昨年度青森市内では、平均して五日に一回は自動車によって電柱等が被害を受け、その都度、百四十戸が停電したことになるのです。

事故が発生した場合は、電柱等が原状に復旧するための費用など一切を運転者に負担していただくこととなります。

トラック、ダンブカー、乗用車が全体の九〇%を占めており、建設業や運送業の車両が一番多く事故を起しています。

この事故防止には運転者一人一人が安全運転を心がける以外に防止対策はありません。

運転する際は、特に電柱に注意して下さい。



社団法人 青森県自動車会議所

理事長 小野彦之丞
会長 横山 武夫

青森市大字浦町字奥野92の1
電 (76) 4211

本州と北海道を結ぶ海のハイウェイ

東日本フェリー

HIGASHINIHON FERRY

本社\函館市末広町24-6 T (0138) 23 1151(代)
青森支社 23 2361

お知らせ

交通災害共済に

全市民加入を

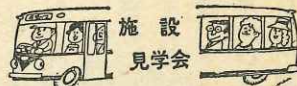
一日一円で

50万円補償

交通事故に会っても当座の費用がなく困っていることが多いので是非市民の全員が加入なさるようしてください。

各町会長がまとめて下さってもよいし町会の集会所などに市役所から出張徴収に行くことにもなっております。

- 1、会費 一人 三五〇円
- 2、期間 加入したときから一年間 他市へ転出しても一年間は有効です。
- 3、見舞金
 - 死亡 五十万円
 - 傷害六カ月以上 十万円
 - 傷害三カ月以上 五万円
 - 傷害一カ月以上 二万円
 - 傷害七日以上 五千円
 - 傷害七日未満 二千円



市の施設を

みなさんの目で

実施日 第7回 8月25日(金)
 募集人員 100人(団体はご遠慮ください)
 締め切り 実施日の10日前
 見学のコース 市長室～市民文化センター～八重田終末処理場～月見野霊園～幸畑団地(経由)市営肉用牛繁殖育成センター～横内浄水場(昼食)～若草学園～中央卸売市場～総合卸センター～南中学校～中央配水場～西部ひみ焼却場～市役所前解散

申し込み 住所、氏名、年齢、職業を「はがき」か「電話」で、中央一丁目22の5、広報広聴課(内線263、298番)へどうぞ。

なお、参加料はいりませんが、昼食は各自用意ください。

相談案内



行政相談	10日	10時～14時
交通事故・法律相談	15日	10時～12時
税の相談	5日 15日 25日	9時～17時
社会保険・年金相談	18日	9時～15時
出かせぎ相談	毎日	〃
特設人権相談	21日	10時～15時
内職相談	20日	10時～12時
結婚相談	毎日	9時～17時
緑化相談	毎週木曜日	13時～15時
環境・衛生相談	〃 火曜日	〃
土木・道路相談	〃 水曜日	〃
身上・生活相談	〃 金曜日	〃

相談場所 市役所1階・広報広聴課

ご意見を

お寄せください

▽市民生活のなかでのさまざまな出来事、町の話題や自慢、あるいは他の町の方々にお知らせしたい事などで、どんな事でも結構です。ご投稿ください。

広告掲載希望の

方はどうぞ……

この会報は各町内会を通じて市内全家庭に回覧されます。広告掲載ご希望の方は事務局へお申し込みください。

清潔に簡単に安く「ゴミ」を小包にする……

カワイ・パックス

ゴミの収集は
 黒い袋ブラックパックスで!

- ◆ゴミが目立ちません
- ◆焼いても有害ガスが発生しません
- ◆丈夫です
- ◆値段……36リットル(2斗)入り・10円
 18リットル(1斗)入り・5円
- ◆耐湿防水加工紙袋もあります

多くの町会でもご推薦いただいております。

カワイパックス青森県総代理店

TEL ㊦2621